

じょうかまち ふせい のこ まちな 城下町の風情を残す町並み

所在地：洲本市 本町



洲本城址と市街地の町並み

1631年から約10年をかけて、蜂須賀氏が本拠地を由良から洲本に移す「由良引け」以降、洲本は洲本城の城下町として栄えました。その土地利用は、洲本城の北西側に社寺を配置するなど典型的な城下町となっています。

現在の洲本市街地は、紡績工業の発展によりその町並みを大きく変えていきますが、通りや地割りは城下町の赴きを残している箇所があります。通りの角に立つ町家や寺町、城下町の内町と外町を分けていた堀を埋めた弁天通など、城下町の風情を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図